

事後評価書

事業名	長島港海岸 城ノ浜地区 海岸環境整備事業		事業区分	海岸事業 (国土交通省)		室名	港湾・海岸室	
事業概要	工期 (下段当初)	昭和61年～平成16年	全体事業費 (下段当初)	4,224百万円 (負担率: 国10/30 : 県17/30 : 市町3/30)				
		昭和61年～平成17年		4,401百万円 (負担率: 国10/30 : 県17/30 : 市町3/30)				
事業目的及び内容		<p>事業目的:</p> <p>長島港海岸は、北牟婁郡北部の熊野灘沿岸にあり、出入りの激しい半島と直背後に山地が迫る磯浜とが複雑に入り交じった、典型的なりアス地形を形成している。当海岸背後は、熊野灘レクリエーション都市として公共・民間が一体となり、各種の公園関係施設の整備をしている。このため、当海岸では、背後の公園関係施設と併せて整備を行い、海岸の保全及び海岸利用の増進を図った。</p> <p>事業内容: 整備延長 L=620m 突堤 N=363m(4基)、護岸 L=560m、離岸堤 L=180m(8基)、養浜 V=69,500m³ 潜堤 L=195m、遊歩道A=2,240m²</p> <p>事業経緯: 昭和61年度 事業着手 昭和62年度～平成4年度 突堤(海側2基)、離岸堤 平成4年度～平成13年度 護岸、突堤(陸側2基)、潜堤、遊歩道 平成13年度～平成16年度 養浜、護岸、遊歩道 平成16年度 事業完了</p>						
1・事業の効果		<p>1-1 事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸整備前は、高波浪時に越波による被害が度々生じていたが、平成16年度の事業完了後、多数の台風が上陸ないし接近したものの、当海岸では海岸保全施設及び背後の施設等に被害は発生せず、防護機能を発揮することができた。 <p>1-2 事業効果の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年時点でB/Cは、1.20である。 						
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化		<p>2-1 事業実施による環境面への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 離岸堤については、海岸の良好な自然環境を保全し、海水浴等の海岸利用の増進を図るため、二重円筒ケーソン式離岸堤を採用した。この離岸堤の採用により、良好な海水交換による水質保全が期待でき、円筒が形成する曲面のつながりが、柔らかい景観を与え周辺の自然環境と調和する等、環境面へ配慮することが出来た。 <p>2-2 事業実施による周辺環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 当海岸は海水浴場となっており水質調査(COD調査)が行われているが、水質調査の結果は平成13年度以降、最良の判定を毎年獲得していることから、事業開始前や平成13年以前より水質が悪化していることはないものと推定される。 						
3・事業を巡る社会経済情勢等の変化		<p>3-1 背後の防護対象の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 当海岸の背後は、熊野灘レクリエーション都市が整備されているため、防護の必要性は依然として高い。 熊野灘レクリエーション都市の整備状況 S62 城ノ浜フィットネスホール完成 H3～H7 孫太郎オートキャンプ場完成 						

3-2 利用状況の変化

- ・ 高速整備が進められており、平成21年2月には当海岸から約20km離れた箇所にて紀勢大内山インターが開通した。東紀州地域へは中部や関西から自動車で行く方が多いため、今後も高速整備の延伸により、さらなる移動時間の短縮が期待されることから、これらの地域からの海岸利用者の増加が期待できる。
- ・ 当海岸に隣接する熊野古道が平成16年に世界遺産に登録され、熊野古道を訪問する観光客からの利用が期待できる。

4・県民の意見

4-1 アンケートの概要

- ・ 平成21年9月 城ノ浜地区の方々（43世帯）に対してアンケートを実施。
（回答数15世帯 回答率34.9%）

4-2 安全面に対する満足度

- ・ 「満足(27%)」+「どちらかといえば満足(40%)」が67%あり、「不満(0%)」+「どちらかといえば不満(20%)」の20%を上回る結果となりました。

4-3 環境面や景観面に対する満足度

- ・ 捨石やブロックを用いた通常の離岸堤に比べコストが増大しても景観面・環境面に配慮した、「二重円筒ケーソンがよい」との意見が74%あり、「離岸堤がよい」の13%を上回る結果となりました。
- ・ 環境・景観面に関する総合的な満足度についても、「満足(27%)」+「どちらかといえば満足(40%)」が67%あり、「不満(0%)」+「どちらかといえば不満(13%)」の13%を上回る結果となりました。

4-4 総合的な満足度

- ・ 当事業により地域が活性化されたかという質問については、「活性化が図られた」との意見が40%あり、「活性化が図られていない」の13%を上回る結果となりました。
- ・ 満足(4人)」+「どちらかといえば満足(6人)」が10人あり、「不満(1人)」+「どちらかといえば不満(1人)」の2人を上回る結果となりました。

4-5 不満、改善を要する指摘

(1)城ノ浜地区の方々からの指摘

- ・ 災害に対して不安がある。

(2)海岸利用者からの指摘

- ・ 駐車場が狭い。
- ・ 海の家などの休息場所が欲しい。
- ・ ゴミが多い。ゴミ箱を設置して欲しい。

5・今後の課題等

5-1 事業実施上の課題・問題点

- ・ 事業着手時には、地元住民との間で十分な意見調整を図る仕組みが確立していなかった。
- ・ 海岸を利用する際に、現状より快適に利用できるよう、海岸利用者が望んでいる。

5-2 事業実施上の改善点

- ・ 地元の観光部局や、背後の地域の方々に情報提供を行うことにより、何らかの改善策を見いだせるよう、より利用面に配慮した海岸へと改善していく。

5-3 今後実施する事業への留意事項

- ・ 事情効果について分かりやすく、十分な説明を住民の方に対して行う。
- ・ 計画段階から広く住民の意見を聴き、計画に反映させる。